

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名(宮友産業株式会社)

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）【R5.11.30様式改定】

カテゴリー	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本			差別をしない体制を構築し、上司との面談でもし差別の兆候があれば把握できるよう努めている。 就業規則や朝礼、研修で差別を防ぐ教育を行っている。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本			就業規則や朝礼でハラスメントを禁止する方針を社員に周知している。 上司との面談でもしハラスメントの兆候があれば把握できるよう努めている。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本			人員配置や勤務計画の時点から長時間労働が発生しないように取り組みを行っており、タイムカードによる就業時間管理を行っている。								8.5 8.8									
4	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本			現在外国人労働者の雇用はないが、今後雇用の際は上記のような取り組みで人権侵害がないように取り組む。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5 人権・労働	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本			朝礼で作業時の安全確認の徹底や、運搬用のエレベーター等危険が予測されるところには安全作業に関する掲示を行っている。			3					8									
6	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本			上司との面談で心身の不調や、職場に対する要望を把握するよう努めている。			3														
7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本			適材適所で多様な人材が活躍できる職場を目指し、店長を始めとした店内接客スタッフは6割が女性である。 また高齢者も体力等に応じて活躍できる業務に携わっている。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本			商品の生産現場の見学・研修会や商品知識研修会を業務の一環として定期的に行っている。				4	5.5			8	9								
9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本			パートタイム労働法、労働契約法等の改正内容を理解し、同一労働同一賃金等の原則に沿った体制の整備・対応を行っている。					5.5			8.5		10.2 10.3							
10	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ			毎年全社員が健康診断を実施し、朝礼前にはラジオ体操を行っている。社内の健康づくりを推進し、健康経営優良法人2024を取得した。			3					8									
11	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本			廃棄物の種類・量を把握し、適切な分別と処理を行っている。「一般廃棄物収集運搬業」の許可を受けていることを確認した産業廃棄物専門業者に委託して処理を行っている。											11.6 12.4		14.1				
12	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本			毎月の電気・ガスの使用量を把握している。 【予定】温室効果ガスの排出量の把握に努める							7.3					13					
13	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本		【予定】	店舗内の照明をすべてLED化し、節電・省エネに努めている。 【予定】温室効果ガスの排出量の把握に努める							7.2 7.3				12.4	13.3					
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本			通常業務内で法令等で規制されている有害化学物質を排出することはないと考えらる。 メーカーに対し、製造段階で法令等で規制されている有害化学物質を排出していないことを確認している。			3.9			6.3					11.6 12.4						

カテゴリー	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
環境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本			取り扱う商品について、メーカーに対し製造段階で生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないことを確認している。						6.6									15		
	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本			過度な梱包の取り止め、緩衝材の再利用を行いゴミの削減に努めている。 また、家具の修理サービスの周知を通じて買い替えではなく、修理で長く家具を使うという選択肢を顧客に伝えている。 2024年から家具の再生塗装事業を本格的に稼働!											12.5		14.1				
	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ			毎月の使用量を把握し、節水を促す掲示を行っている。						6.4 6.6											
	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ						3.9			6	7					12	13.3	14	15		
	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ															12.6					
	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ			店舗の屋根部分に太陽光発電装置を取り付け、温室効果ガスを排出しない発電に取り組んでいる。							7.2						13				
	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ			古材を活用した家具の取り扱っている。家具の修理サービスの周知を通じて買い替えではなく修理で長く家具を使うという選択肢を顧客に伝えており、取扱数も2021年200件⇒2024年370件に増加した。												12.2	13	14	15		
公正な 事業 慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本			就業規則や朝礼で汚職・贈収賄を禁止する方針を社員に周知している。																16 16.5	
	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本			就業規則や朝礼で不正競争行為を禁止する方針を社員に周知している。																16	
	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本			現在自社では特許、商標等知的財産権の取得はしていないが、今後必要に応じ取得・管理を行う。 知的財産の保護の重要性を朝礼、研修で周知している。								8.2 8.3	9								
	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本			プライバシーポリシーを定めて個人情報を適切管理し、その方針を社員にも周知している。 顧客にアンケートを取る際も個人情報保護方針の確認、承認を求めている。																16	
	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ			メーカー・取引業者の選定にあたって、商品原材料の産地やサステイナビリティについての方針の情報開示を求めている。																16	
	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ								5			8		10		12	13	14	15	16	17
	【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5～追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本		【予定】	「パートナーシップ構築宣言」の作成に向けて関係する取引先やスタッフと構築作業を行っている。			3					8	9	10							17



上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）

・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。  
（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエッセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載
- 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
- ※1…組織の社会的責任に関する国際規格      ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定